

1. 将来に向けた津島市のまちづくり戦略について（将来の土地利用の方向性）

○これから10年先の将来都市構造について

人口の減少局面や災害の激甚化の中でも、人のライフスタイルにゆとりと便利を与え、市民にとって住みやすいまちとなるよう、「新たな津島市」の将来像を下図の「将来都市構造図」に示します。

広域から鉄道や幹線道路により本市にアクセスする地域を「玄関」として位置づけ、市内の総生産を高めるため市民に暮らしやすく、また産業や観光をより広域的な交流へつなげる、まちづくりを推進していきます。

都市拠点

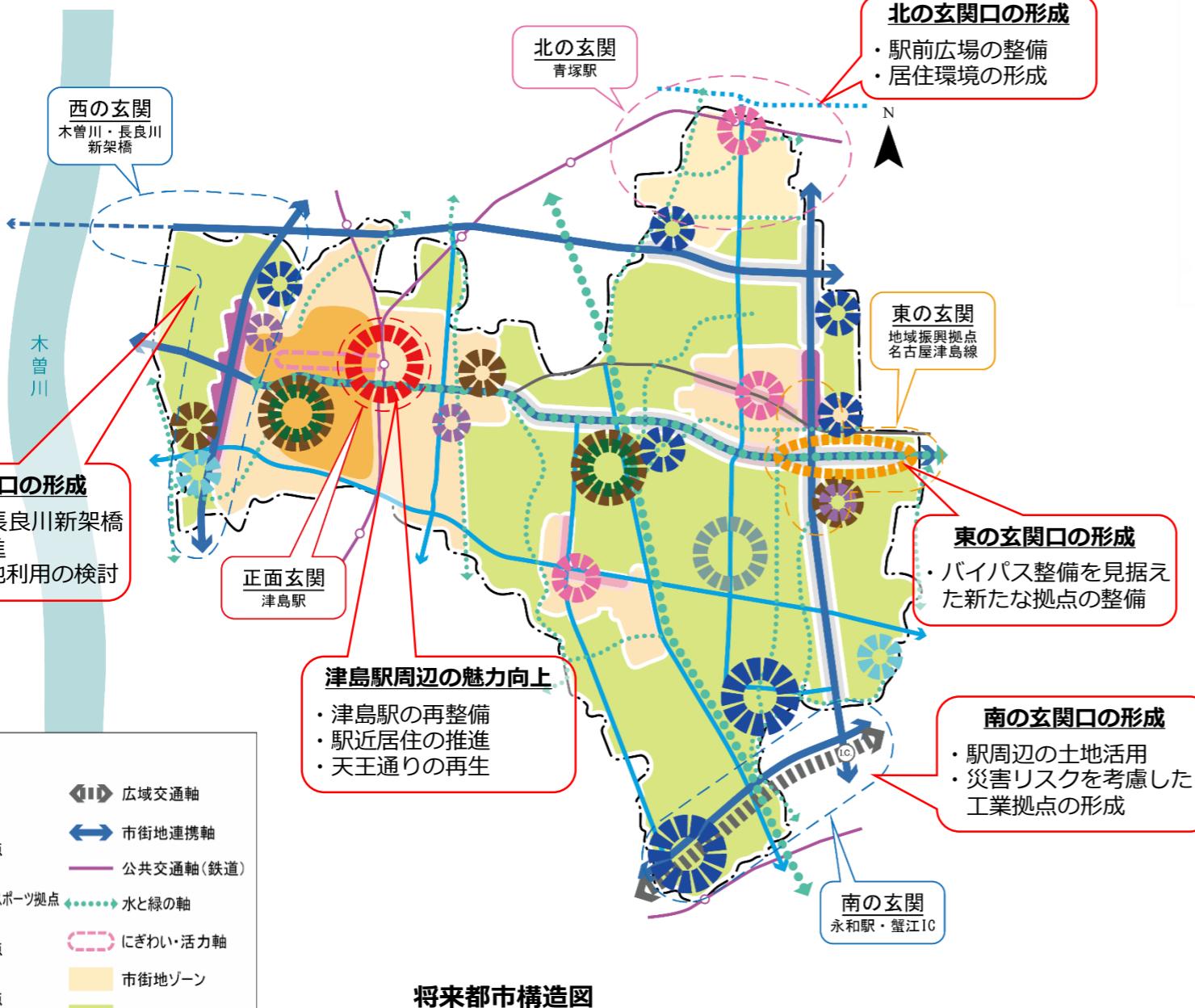
本市の正面玄関として、土地の高度利用を促進しつつ商業、業務、医療などの都市機能が充実した、都市の中心として活力あるまちなかを形成する拠点

地域生活拠点

地域の日常生活を支える身近な都市機能などが充実した、暮らしやすいまちなかを形成する拠点

防災拠点

災害時には対策本部設置や県内外からの応援部隊・資機材などの集結・集積活動拠点、平常時には防災訓練などの活動に資する拠点



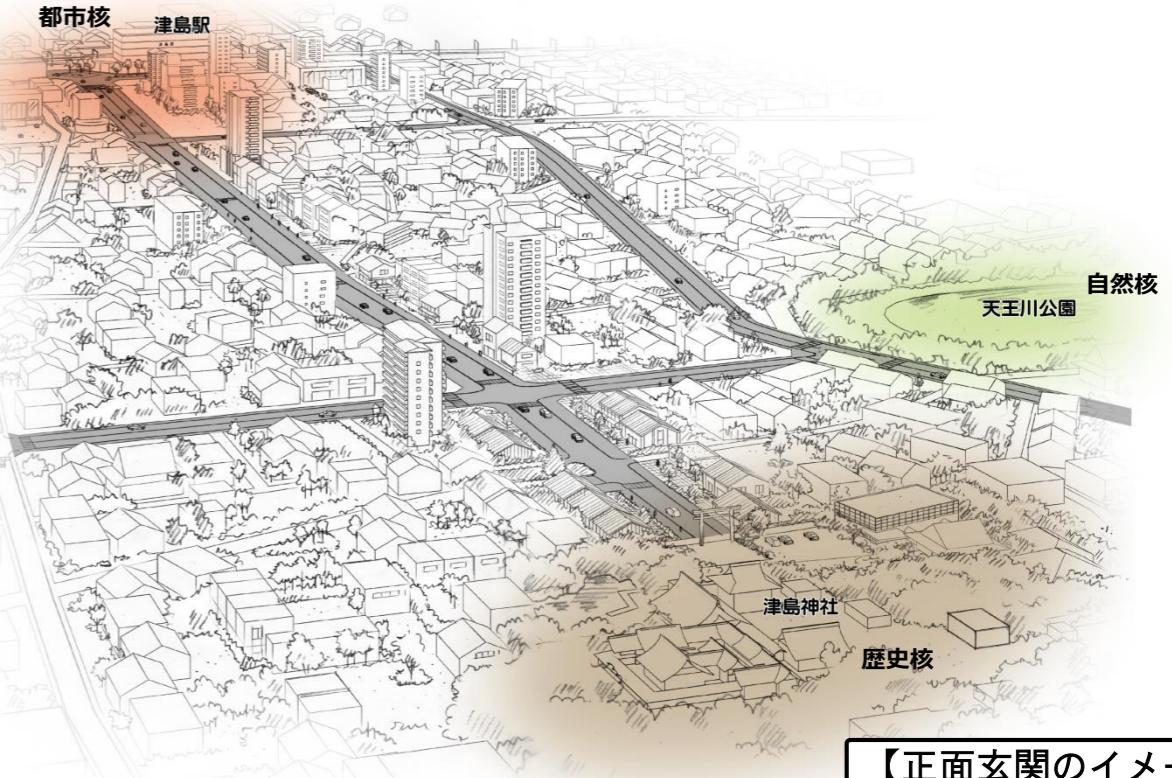
地域振興拠点

名古屋駅に直結するアクセス性が高い（都）名古屋津島線の沿道を新たな交流を生み出す軸として地域振興の発展を形成する拠点

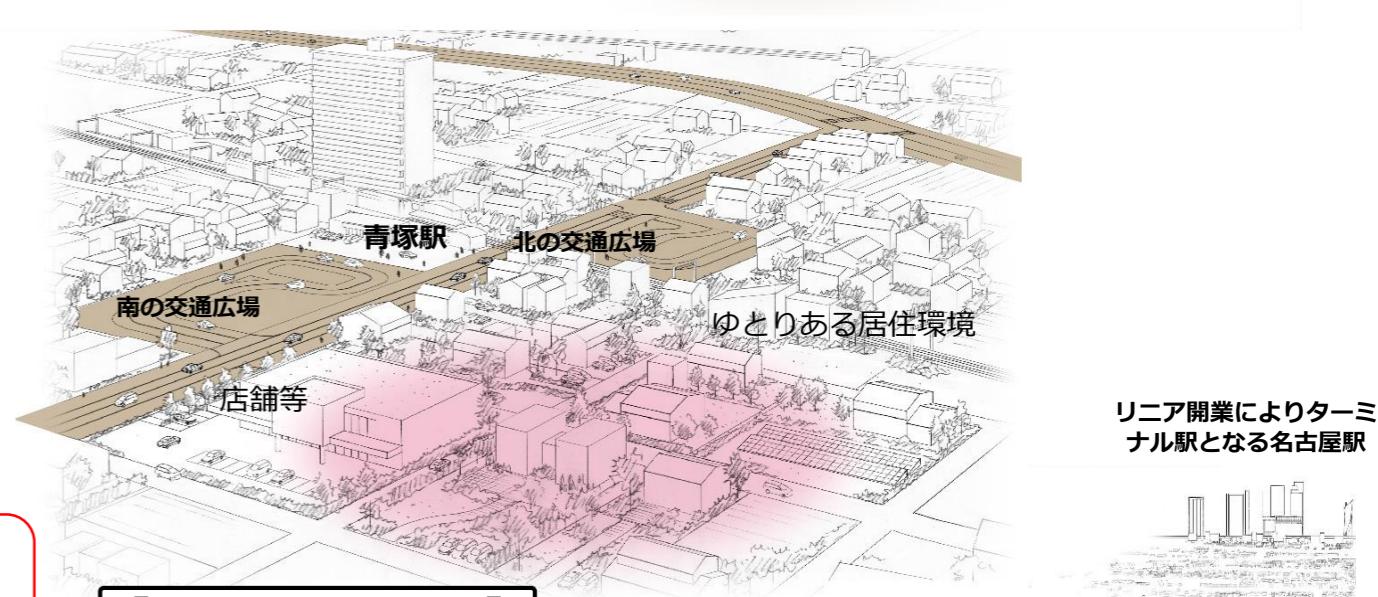
レクリエーション・スポーツ拠点

多様な人たちが、豊かな緑の憩いの場のレクリエーション活動やスポーツ活動などを形成する拠点

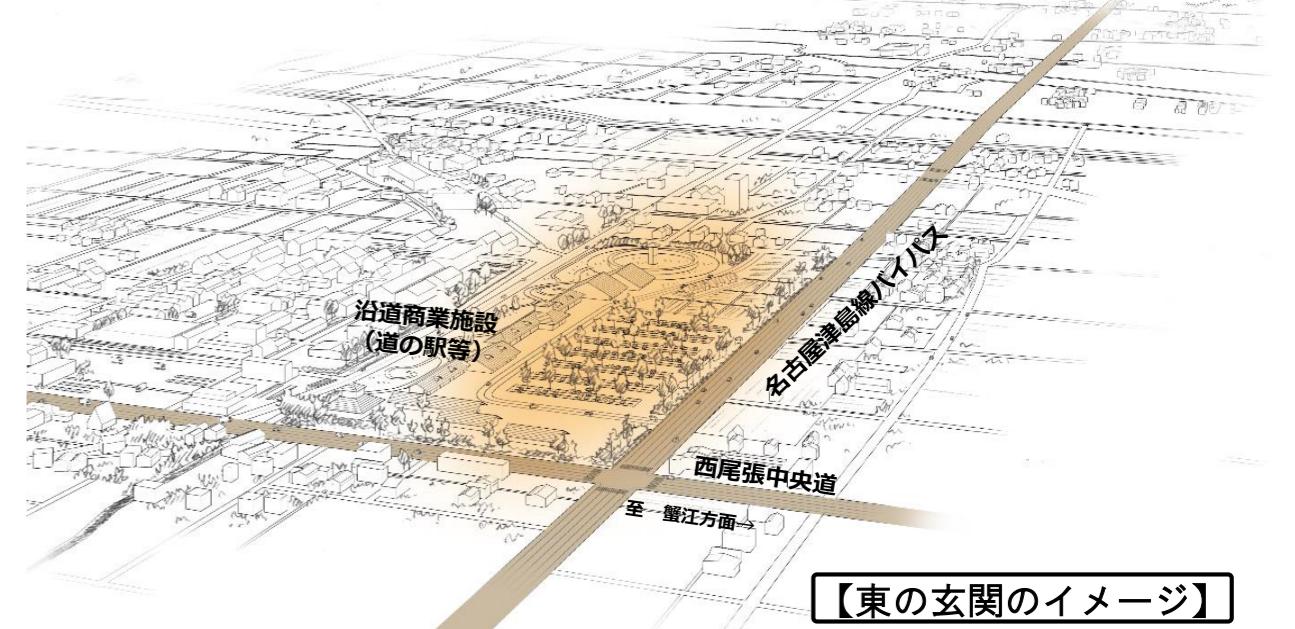
○代表する玄関口の土地利用イメージについて（正面・北・東の玄関）



【正面玄関のイメージ】



【北の玄関のイメージ】



【東の玄関のイメージ】